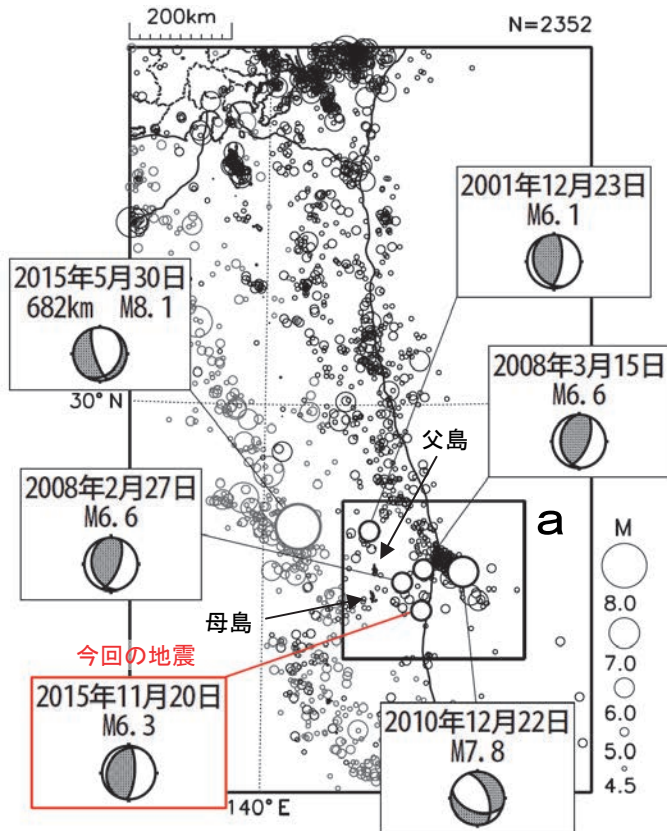


11 月 20 日 父島近海の地震

情報発表に用いた震央地名は「硫黄島近海」である。

震央分布図

(2000 年 4 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～700km、 $M \geq 4.5$)
100km より浅い地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



2015 年 11 月 20 日 14 時 31 分に父島近海で $M6.3$ の地震（最大震度 2）が発生した。発震機構（CMT 解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

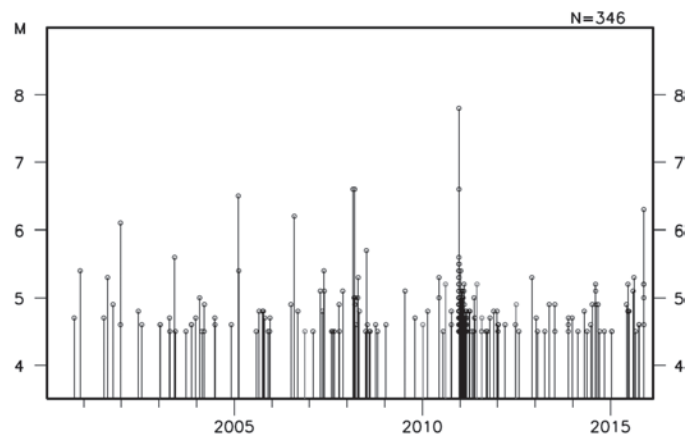
ほぼ同じ場所で、震度 1 以上を観測した地震が今回の地震を含めて 5 回発生した。

2000 年 4 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。

今回の地震の震央から約 100km 北東側に離れた場所では、2010 年 12 月 22 日に $M7.8$ （最大震度 4）の地震が発生し、八丈島八重根で 0.5m、父島二見で 22cm などの津波を観測した。

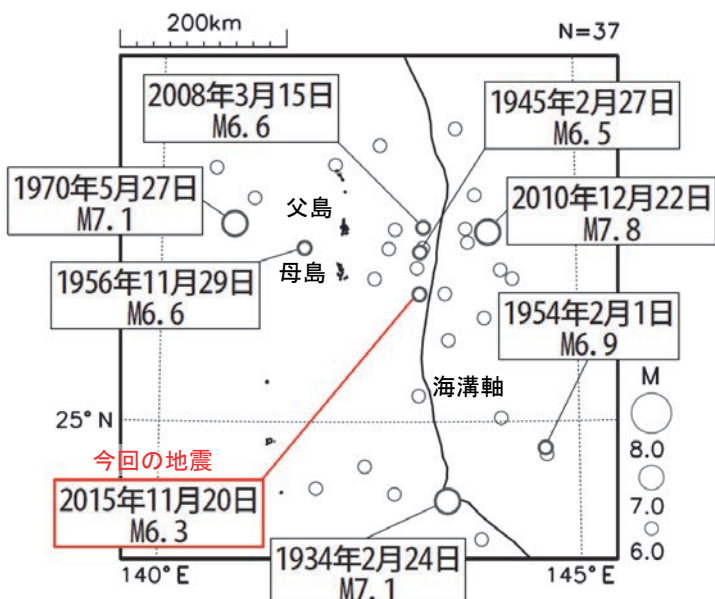
1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（左下の震央分布図の範囲）では、 $M6.5$ 以上の地震が時々発生している。

領域 a 内の M-T 図



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～400km、 $M \geq 6.0$)



左図の領域内の M-T 図

